



毎日新聞に掲載されました！

部局たまつえの活動を取り上げて いただきました。



開発した商品を手にする奈良情報商業高の生徒たち



商品づくりに取り組む生徒たち
二いづれも桜井市で

奈良情報商業高生が開発

桜アロマで地域活性

桜井 桜井市の県立奈良情報商業高の生徒が学園の一環で開発したアロマ商品が人気を呼んでいる。今年春に近鉄大和八木駅（橿原市）前の土産店で販売した際には1カ月半で約100個が完売。現在は桜井駅のにぎわいを復活させようと、月に一度のペースでデント販売にも取り組んでいる。【広瀬寛子】

商品は桜の香りの芳香剤で、壁掛け、置き型、マスコットの各タイプがある。雄と雌の鹿のキャラクターを使ったマスコットタイプの「ディアール奈良」（200円）は山田安香さん（3年）らが開発した。奈良県と桜井市をPRする商品を作る

芳香剤100個完売

観光客ら「可愛い」

うと企画。芳香剤は2匹で1対になっており、靴に入れて使えるように。かばんに付けやすいようにミニタイプ（100円）も作った。

同校では2015年に経済の仕組みを学ぶ授業の一環として模擬

株式会社「たまつえ」を設立した。会社は生徒や教諭の出資金（1人1000円）で運営するシステムで、商品は同校に所属する生徒たちが数年ごとに開発する。昨年から活動範囲を広げようと、同社の一部を部活動に変更。1、3年の9人が所属し、道の駅など県内13事業所で商品を販売している。

昨年からは桜井駅前

一緒に活動してくれる生徒を募集しています！
興味のある人は、実習棟1階統合記念室へ！

